

【問題】

次の文章を読み、文中の「人それぞれ」があらわす二種類の意味合いについて、あなたの考えを800字以内で述べなさい。なお論述では、身近な例を含めること。

「みんなちがって、みんないい」

この言葉を耳にしたことがある人は、けっこう多いのではないだろうか。この言葉は、金子みすゞさんの「私と小鳥と鈴と」という詩のなかに出てきます。一般的には、世の中のさまざまな存在を受け入れる優しい詩だと解釈されています。この世に同じものもなく、だからこそみんな素晴らしい、というわけです。

同じような意味合いで、最近、「多様性」という言葉をよく耳にします。英語でダイバーシティと表現されることもあります。こちらも、一人ひとりの違いを認識し、認め合うという意味合いで使われています。国際連合の提唱するSDGs（持続可能な開発目標）を実現するひとつの軸としても、「多様性」が提案されています。

それでは、「人それぞれ」はいかがでしょうか。この言葉は、「多様性」以上に耳にする機会が多いのではないのでしょうか。私の回りでも「人それぞれ」という言葉を使っている人をよく見かけます。この「人それぞれ」という言葉にも、「みんなちがって、みんないい」や「多様性」のように、それぞれの違いを尊重するような雰囲気があります。

しかし、この言葉には、それ以外の意味合いがあるようにも思えます。たとえば、皆さんが友人と進学先の話をしているとしましょう。そのときに、「人それぞれだから」と言われたらどうでしょうか。この言葉を聞いて、「受け容れてもらった」と嬉しさを感ずるより、突き放されてしまったような寂しさを感じる人も少なくないでしょう。

「人それぞれ」という言葉には、一見、相手に受け容れられているようでいて、距離をおかれているような複雑な語感があります。

出典

左記書籍の3頁～4頁より抜粋・引用

ちくまプリマー新書 392

「ひと人それぞれ」がさみしい 「やさしく・冷ひやたい」じんかんけい人間関係を考かんがえる

二〇二二年一月十日 初版第一刷発行

二〇二三年九月二十日 初版第二刷発行

著者

石田光規（いしだ・みつのり）